



宇都宮市立錦小学校 学校だより

にしきの子

第3号 令和7年 6月 6日 発行者 校長 大森 信二

学校教育目標（合言葉）

- 一、しっかり学ぶ 錦の子
- 一、よりよく生かす 錦の子
- 一、なかよく生きる 錦の子
- 一、元気でがんばる 錦の子

錦小スローガン：思いやり 一歩ふみだし 世界はかわる

子供たちの学校生活の様子を観察していると、毎日いたるところで「思いやり」の気持ちがよく伝わる場面を目にします。「思いやり」は直接見ることはできませんが、行動や言葉に形を変えて見ることができます。思いやりの行動や気持ちの根底にあるのは、豊かな人権感覚ではないかと思います。

人権とは、「すべての人が生まれた時からもっている、幸せに生きる、自分らしく生きる権利」のことです。学校生活で考えると、楽しく過ごすことができるということです。つまり、人には、「嫌なことや悪口を言わない、いじわるをしない、嫌な気持ちにさせない」人からは、「嫌なことや悪口を言われたい、いじわるをされない、いやな気持ちにされない」ということです。いじめゼロとは、この「人権」を守ることでもあると思います。令和7年度、錦小いじめゼロスローガンは、「思いやり 一歩ふみだし 世界はかわる」となりました。全校体制でいじめゼロに向けて取り組んでまいります。



引き渡し訓練（全学年）

5月21日（水）、全校で引き渡し訓練を実施しました。震度5強以上の地震が発生した場合や、大雨などで児童の下校が危険であると判断した場合は、保護者のお迎えを原則とします。自家用車で来校の保護者の皆様は、東門から入り校庭に駐車し各教室に行きます。担任は、一人一人確認をして児童を引き渡します。その後、西門からお帰りいただきます。徒歩や自転車で来校の保護者の皆様は、北門からの出入りになります。今回の訓練で明らかになったことを今後の改善点といたします。非常時等、お迎えによる引渡しが必要と判断しましたら、至急連絡をいたしますのでよろしくお願いいたします。保護者の皆様、訓練にご協力いただきましてありがとうございました。



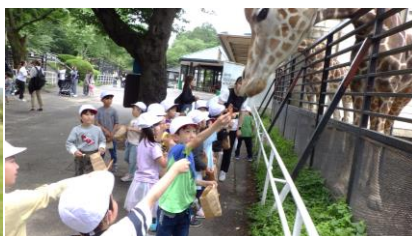
3年遠足：なかがわ水遊園

5月20日（火）、3年生は遠足でなかがわ水遊園に行きました。園内には、全国でも珍しい淡水魚の水族館があります。児童は、本物の木々や花などを備えたジオラマ水槽内や那珂川とアマゾン川を中心とした展示エリアなどを感動しながら見学していました。お昼は、広い敷地の木陰でおいしいお弁当を食べました。



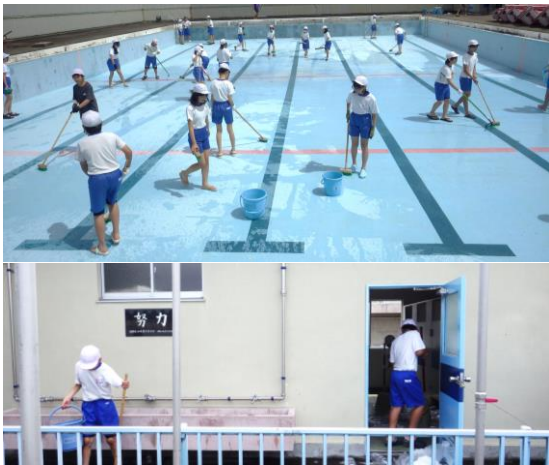
1年遠足：うつのみや動物園

5月23日（金）、1年生はうつのみや動物園に行きました。たくさんの動物と触れ合ったり、友達と一緒に遊園地で遊んだりして楽しい一日を過ごしことができました。



4年遠足：益子町方面

5月27日（火）、4年生は遠足で益子方面に行きました。今年も長谷川陶苑様にお世話になり、子供たちは手びねり体験をしました。茶碗や湯呑、丸や四角いお皿など、それぞれのセンスとアイディアが満載の個性的な作品が出来上がりました。その後、益子県立自然公園でお弁当を食べ、広場で元気に遊びました。



プール清掃・プール開き

6月4日（水）、6年生によるプール清掃を実施しました。プール開きに向け、懸命に清掃に取り組む6年生の姿が見られました。6月9日（月）はプール開きで安全祈願を行い、翌日から、7月18日（金）のプール納めの日まで、安全第一で水泳の授業を実施いたします。

保護者の皆様には、さくら連絡網による新しい連絡方法についてご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。また、今年度も引き続き、プールボランティアへのご協力もお願いいたします。

文字を書く喜び～星野富弘さんの生き方から～

1年生は、入学してから「ひらがな」を勉強しています。私たちも、日常生活の中であたりまえに文字を書いています。しかし、カタカナの「ア」の字を一文書くのには大変な苦勞をした人がいます。星野富弘（ほしのとみひろ）さんです。星野富弘さんは、昭和21年、現在の群馬県みどり市（旧東村）で生まれました。大学では器械体操の選手で、運動がとても得意でした。大学を卒業後、中学校の教員だった20代の時、部活動の指導中、宙返りをした時にマットに頭から落ちる事故で手足の自由を失いました。入院中に、人工呼吸器がはずれ、自分で呼吸ができるようになってから、口に筆をくわえて文字を書く練習が始まりました。寝たままの姿勢で顔を横向きにしてサインペンを口にくわえました。ペン先すれすれにスケッチブックを立ててもらい、口にくわえたペンがぶるぶる震えながら、初めてカタカナの「ア」という一文字を書き上げました。うれしくて、うれしくて、次の日も、また次の日も、横向きになって口にペンをくわえて文字を書くことが楽しみになったそうです。そして、一文字ずつ増えていく文字を見ながら、「もう一度、器械体操を始めた時のようにやってみよう。器械体操の美しい技もいきなりできる人はいない。基礎になる技を一つ一つ練習し積み重ねることで、美しい技になる。」そう心に誓い、毎日文字を書く練習を積み重ねたそうです。そうして、文字や絵を書き始めたのをきっかけに創作活動をスタートさせました。そして、一つの作品の中に絵と詩が盛り込まれた「詩画」と呼ばれる作品を生み出してきました。作品をまとめた「花の詩画展」は全国各地で開かれて話題となり、その後、ニューヨークやサンフランシスコなどでも作品展が開かれました。本校では今年度、「書くこと」の充実を図ることを、学習指導の重点目標の一つに掲げています。宇都宮市でも、全市で「書くことキャンペーン」を展開します。1人1台端末、学校DXの時代だからこそ、「書くこと」を今まで以上に大切にしていきたいと考えます。メールも手軽で便利ですが、絵ハガキや便せんに自筆のメッセージが書いてあると心に染みます。印刷された年賀状でも、一言自筆のメッセージがあるとうれしいものです。久しぶりに手紙でも書いてみようかと思っています。



本校のHPは日々更新しています。
最新情報はHPでご確認ください。



にっこりえがお
しっかりまなぶ
きたえるからだ